

ヤチボウズ

釧路湿原の沼地には、ヤチボウズと呼ばれるスゲの茂みが点在しています。ヤチボウズは、まるで長い髪を生やした頭が地面から突き出ているように見えます。スゲが伸びると、古い葉は枯れ、とがった緑の新しい葉が茂みの上に出できます。これによりスゲの葉の各層ができ、それが髪の毛のように側面に垂れ下がります。

ヤチボウズの驚くべき高さは、厚い霜が降り雪はあまり積もらないという湿原の条件の組み合わせによって生じます。寒い冬の間には、地面が凍るため、これらの茂みの根が持ち上げられます。春には、雪解け水が茂みの周りの土を洗い流すことで根がさらに露わになり、茂みがより高く見えるようになります。地面が凍り、周りの土が洗い流される、というのが40年ほど続くと、茂みの中には、40～50cmの高さに達するものも出できます。

ヤチボウズは、釧路湿原と、近くにある霧多布湿原（釧路湿原の微気候と似ています）で見られます。